

## 社会価値の実現に向けたイノベーションと知的財産

西原基夫\*



### 1. はじめに～新しい社会価値の実現～

NECグループの存在意義は、SDGsの目標で示されているようなグローバルにおける社会課題を解決することで、人々の安全や安心だけでなく、公平性や、効率性を提供することにあります。NECグループは、いつの時代のどんな状況であっても、地球環境と共存し、人々が持つ潜在能力を最大限に発揮して、人と人が相互に深く理解しあえるサステナブルな社会を創っていきます。

その際には、人権やプライバシーに十分配慮しAIなどの技術を活かしていくこと、環境課題に対応した事業活動を行うこと、そして感度の高い人材を育成していくことなどが重要となります。これらをNECの強みとし、ステークホルダーとの対話・共創を通じた事業活動により社会課題を解決していくことで、持続可能な開発目標「SDGs」の達成にも貢献できると考えています。

### 2. New Normal時代における新しい社会価値の創造

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界的に拡大し、私たちの暮らしや経済活動に大きな影響を与えています。そして今もなお、世界各地において、政府や自治体は危機管理に取り組み、医療従事者の皆さまは感染症の治療や予防に尽力され、企業や生活者は多くの行動を制限された中で経済活動や日常生活を送っています。NECは、現在のこの危機に対し、NECグループの「Purpose」の中で掲げる「誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会」の実現を目指し、社会に貢献できるさまざまな支援を提供しています。

これからは社会のあり方や価値観、行動様式が変わり、新しい価値観「New Normal（新しい日常）」が作られていき、私たちは新しい世界を受け入れ、自ら行動を変えなければならなくなっていくでしょう。New Normalを見据えた、リモート化、オンライン化、タッチレス化、効率化／自動化、透明性と信頼性の向上などに向けた取り組みを通して、デジタルトランスフォーメーション（DX）がさらに進み、結果として新たな社会価値創造の需要がますます拡大します。NECグループは新しい社会価値の創造にも貢献してまいります。

### 3. 社会実装を推進するイノベーションと社会受容性

NECは、デジタル技術の進展が社会の隅々まで浸透した姿を「Digital Inclusion」という言葉で表

\* 日本電気株式会社 取締役 執行役員常務 兼 CTO Motoo NISHIHARA

現しています。Digital Inclusionな社会では、デジタル技術によって実世界が「見える化／分析／対処」され、さまざまなムダが省略されて、あらゆるものが高度化されていきます。「人」の観点で見れば、性別・年齢・人種・障がいの有無といったことに関係なく、すべての人がデジタルの力によって多様な能力を発揮でき、能力を活かせる機会や場を得られるようになるべきです。NECは、これらがこれからの社会のイメージであると考えています。

従来、技術開発といえば、性能の高さや機能の多さが競われてきました。しかし、技術だけでは社会実装は進みません。特にDXを支えるAI技術等の実装に向けては技術の社会受容性という観点が大切になると考えています。例えばAIは非常に有効な技術ですが、社会に真に受け入れられるためには、誰にとっても公平で、プライバシー、倫理、法整備などに配慮したものでなければなりません。そのためには、デジタル化が隔々にまで浸透した「社会」がどのようなものになるのかをはっきりとイメージする必要があります。

New Normalに向けて社会全体のDXが進む中、AIの社会実装や、生体情報などの価値あるデータの利活用が加速していきます。その上で最も重要となるのが人権の尊重です。NECでは2019年4月に「NECグループAIと人権に関するポリシー」を策定し、その考え方を事業に組み込む取り組みを進めています。また、法制度や人権・プライバシー、倫理に関し専門的な知見を有する外部有識者から構成される「デジタルトラスト諮問会議」を設置し、社外との連携・協働も進めています。同会議を通じて多様な意見を取り込むとともに、AIの利活用時に生じる新たな課題への対応を強化しています。

#### 4. 社会価値の実現を支える知的財産

社会価値を創造し発展させていくために、社会ソリューション事業の領域などでは、NECグループ横断的な戦略的特許プロジェクトを展開することで、知的財産権による競争優位性の担保だけでなく、お客さまやパートナーとの連携を強化するため、連携領域の特許を確保し、それを活用することでお客様やパートナーの事業を守るための知的財産網の構築や活用も進めています。

New Normalを見据えたDXを支える技術として顔認証技術とAIがあります。前述の取り組みの成果の一例として、顔認証技術の特許ポートフォリオは、外部評価機関による2019年の特許総合力評価においてトップの評価を得ています。また、AI技術ではWIPOによる関連技術の累積出願件数のランキングで世界第5位を獲得しました。これらの技術をはじめとし、引き続きグローバルでの取り組み強化を行い、知的財産の活用を通じ、社会価値の実現を支えてまいります。

#### 5. おわりに

NECは、全世界の社会が変革を求められている現状に対し、変革をリードすべくNew Normalに向けた新しい社会価値の創造を通じ、社会課題の解決に取り組みます。そして、この取り組みを支えるため、変化が激しく不透明な社会情勢においても新しい社会に向き合い、大きな視点からの知的財産活動に取り組んでまいります。